

Regional Theater Project



一般財団法人 地域創造
Japan Foundation for
Regional Art-Activities

リージョナルシアター事業

Artist Profile 2026

派遣アーティスト プロフィール 2026

リージョナルシアター事業は、演劇の表現者を公共ホールに最大3回派遣し 公共ホールとともに演劇の手法を使ったワークショップを企画・実施する事業です。

地域の課題や展望などをふまえながら演劇の手法を使ったワークショップを企画し、実施する事業です。子どもたちに向けた学校でのアウトリーチ、学校の先生や行政職員、地域の人々に向けたワークショップなど、地域独自の様々なプログラムをホールと派遣アーティストが共同で企画できます。創造性豊かな地域づくりに取り組むとともに、公共ホールスタッフ等の企画・制作能力向上、ホールの活性化も期待できます。

実施の流れ

①全体研修会

1泊2日で実施団体担当者と派遣アーティストが地域創造に集まり、地域や実施プログラムについての共通認識を持ち、情報交換・企画検討を行う。

②下見派遣

派遣アーティストと地域創造担当者が原則1泊2日で現地を訪問し、打合せと会場下見等を行う。

③プログラムの実施 <実施時間計 840分>

派遣アーティストとアシスタント、地域創造担当者が原則3泊4日×2回、または5泊6日×1回で現地を訪問し、プログラムを実施。最終日にフィードバックを行う。

経費負担

一般財団法人地域創造が負担する経費

- 派遣アーティスト及びアシスタント（2名）の派遣経費（謝金、交通費〔現地移動費を除く〕、宿泊費等）

実施団体が負担する経費

- 研修会参加にかかる経費（担当者の交通費、宿泊費等）
- プログラム実施の際の会場使用料、機材使用料、現地移動費、消耗品費、物品運搬費等

事業の実施例（令和7年度までの事業例）

豊かな発想力とコミュニケーション力を育む ～小学校でのアウトリーチ～



「表現する楽しさ」と、お互いに意見を出し合うことで「コミュニケーションすることの難しさ」と感じてもらいました。教員からは、「イメージを共有し、自分たちで自由に想像し考えることができた」「子どもにとって自然とお互いを理解できる楽しい授業になると感じた」と好評でした。

地域やホールの魅力を再発見する ～街歩きやホール探検ワークショップ～



演出家とともに、街やホールを探検。見つけたものやことを基に、物語やカルタをつくりました。公演鑑賞以外でのホールの役割を市民に知っていただくとともに、地域やホールの魅力を再発見してもらえる事業となりました。

地域を知り、交流を深める ～地域の拠点でのワークショップ～



高齢者が日頃から集っている施設や古民家を改装した地域の憩いの場で、ワークショップや朗読劇を行いました。演劇の手法を使ったワークショップの実施や、地元の方々への取材を基に創作した作品を上演することで、お互いの理解や地域への関心が深まりました。

リージョナルシアター事業の流れ

事業実施前年度

○全体研修会・・・事業実施前年度 11 月頃

○事業内容の調整

○下見の調整

- ・アウトリーチ先への説明、日程調整（下見・本番）
 - －小学校アウトリーチは 90 分が基本、一般 WS は 120 分が目安（全体で 840 分）
 - －下見では、担任の先生など、WS 参加者をよく知る方と会えるように調整
- ・現地交通手段の手配（経費：主催者負担／現地最寄り駅までの交通費は地域創造負担）
- ・宿泊ホテルの手配（経費：地域創造負担／当日本人清算）

●下見派遣 原則 1 泊 2 日

派遣アーティストと地域創造担当者（1～2 名）が現地を訪問し、打ち合わせと会場下見、インリーチ等を行う。

○事業内容の再調整

○派遣先との調整

○合意書の締結（三者）・・・事業実施のおよそ 1 ヶ月前

- ・ワークショップ実施日程、内容の決定
- ・経費負担の取り決め等

事業実施年度

●1 回目派遣 原則 3 泊 4 日（2 回目派遣と合わせて 5 泊 6 日も可）

プログラム実施（派遣アーティスト、アシスタント×2 名、地域創造 1～2 名）

- ・[1 日目] 移動・打ち合わせ、[2 日目] 実施 1 日目、[3 日目] 実施 2 日目、[4 日目] 打ち合わせ・移動
- ・交通手段、ホテルの対応は同下見

●2 回目派遣 原則 3 泊 4 日

プログラム実施（派遣アーティスト、アシスタント×2 名、地域創造 1～2 名）

- ・[1 日目] 移動・打ち合わせ、[2 日目] 実施 1 日目、[3 日目] 実施 2 日目、[4 日目] フィードバック・移動
- ・交通手段、ホテルの対応は同下見

○事業報告書提出（事業終了後 1 ヶ月後）



リージョナルシアター事業

一般財団法人 地域創造

派遣アーティスト プロフィール

Japan Foundation for
Regional Art-Activities



有門 正太郎

俳優・演出家・劇作家
有門正太郎プレゼンツ主宰

© 浅田政志

プロフィール

ありかど・しょうたろう [俳優・演出家・劇作家・有門正太郎プレゼンツ主宰]

1975年生まれ、北九州市出身。倉本聰主宰「富良野塾」、泊篤志代表「飛ぶ劇場」を経て、2005年より「有門正太郎プレゼンツ」を始動。「笑顔になれば何でも出来る」を合い言葉に、作・演出・出演を自ら務める。俳優として様々な全国ツアー公演に参加する傍ら、市民創作劇やワークショップ、アウトリーチ活動を全国で展開。高校演劇専科での講師経験を活かし、北九州芸術劇場「日韓合同キャンプ〜チャレンジ! えんげき〜」の総合演出を務めるなど、後進の育成や地域交流にも尽力している。主な出演作に、富良野塾『今日、悲別で』『走る』、時空の旅『シラノ・ド・ベルジュラック』など。2016年佐藤佐吉賞優秀主演男優賞受賞。2025年よりキタゲキ連携アーティスト。

リージョナルシアター事業の派遣先 (年度 / 実施団体 / 主会場)

- 2026年度 (公財) 札幌市札幌市芸術文化財団 (札幌市教育文化会館) 【北海道札幌市】
- 2025年度 (公財) 箕面市メイプル文化財団 (箕面市立メイプルホール) 【大阪府箕面市】
- 2024年度 JCD・日本管財・大阪共立グループ (豊中市立文化芸術センター) 【大阪府豊中市】
- 2023年度 茨城町 (一) 【茨城県茨城町】
- 2022年度 島田市 (島田市民総合施設プラザおおり) 【静岡県島田市】
(公財) 徳島県文化振興財団 (徳島県郷土文化会館 (あわぎんホール)) 【徳島県】
- 2021年度 (公財) 掛川市文化財団 (掛川市二の丸美術館、掛川市ステンドグラス美術館) 【静岡県掛川市】
- 2019年度 (公財) 門川ふるさと文化財団 (門川町総合会館) 【宮崎県門川町】
- 2018年度 (公財) 東松山文化まちづくり公社 (一) 【埼玉県東松山市】
秩父市 (秩父宮記念市民会館) 【埼玉県秩父市】
- 2017年度 (公財) 高岡市民文化振興事業団 (高岡市民会館) 【富山県高岡市】
(公財) 廿日市市文化スポーツ振興事業団 (はつかいち文化ホール) 【広島県廿日市市】
- 2016年度 (公財) かすが市民文化財団 (文化フォーラム春日井・春日井市民会館) 【愛知県春日井市】



越智 良江

劇作家・演出家

演劇ユニット KOKOO 主宰

©Masahiro Hasuo

プロフィール

おち・よしえ [劇作家・演出家、劇団ユニット KOKOO 主宰]

広島生まれ・東京。劇作家・演出家。演劇ユニット KOKOO 主宰。広島で「劇団 Tempa」を創立し、作品の創造、創客に奔走。その他、伝統芸能・神楽をモチーフにした『贗作・三年目』、演劇引力広島プロデュース公演『マリーゴールドの女たち』劇作、RCC ラジオ番組『ラジプリズム 剣と弓』作・演出など。

演劇ユニット KOKOO「ドップラー」(東京)、「瀬戸内国際芸術祭 2019」「直島こども劇団」(直島)、新潟「越後妻有大地の芸術祭」(津南町)、「UNMANNED 無人駅の芸術祭大井川」(静岡県)、「対話アート 2025A.I.R. / 福祉施設 長野県西駒郷」(駒ヶ根市)、「八戸ポータルミュージアム はっち 15 周年記念事業 /AIR」(八戸) など、各地で活動している。

リージョナルシアター事業の派遣先 (年度 / 実施団体 / 主会場)

2026 年度 (公財) やまなし文化学習協会 (甲斐市双葉ふれあい文化館) 【山梨県甲斐市】

2025 年度 (公財) くにたち文化・スポーツ振興財団 (くにたち市民芸術小ホール) 【東京都国立市】

2024 年度 AJ 共同事業体 (安来市総合文化ホール アルテピア) 【島根県安来市】



志賀 亮史

演出家
百景社代表

プロフィール

しが・あきふみ [演出家、百景社代表]

1979年埼玉県生まれ。演出家。百景社代表。2000年、大学在学時に劇団「百景社」を旗揚げ、以後ほぼ全ての作品で演出を担当する。劇団名の「百景社」は、シェイクスピアなどの古典作品や文学作品をいろいろな角度から読み直し、今にも通じる新たな景色を描きたいという思いから名付ける。旗揚げ当初は、拠点である茨城県を中心に野外公演や田んぼのなか、石組倉庫、庭園など、いわゆる劇場外での上演を多く行なっていたが、2009年に利賀演劇人コンクールで優秀演劇人賞（演出）を受賞後、日本各地や時に海外での上演なども行なうようになる。2013年に茨城県土浦市にアトリエを構えてからは、自身の作品創作以外にも、さまざまな舞台作品を招聘するなどの活動も行なっている。

リージョナルシアター事業の派遣先（年度 / 実施団体 / 主会場）

2026年度 株式会社エフエンタープライズ（西都市民会館）【宮崎県西都市】

2025年度 （公財）いたみ文化・スポーツ財団（東りいたみホール（伊丹市立文化会館））【兵庫県伊丹市】

2024年度 （公財）四日市市文化まちづくり財団（四日市市文化会館・三浜文化会館）【三重県四日市市】



多田 淳之介

演出家
東京デスロック主宰

© 平岩享

プロフィール

ただ・じゅんのすけ [演出家、東京デスロック主宰]

1976年生まれ。神奈川県・千葉県出身。演出家。東京デスロック主宰。

現代を生きる人々の当事者性をテーマに古典から現代劇、ダンス、パフォーマンス作品まで幅広く手がける。地域、教育機関での子どもや演劇を専門としない人との創作、ワークショップ、韓国、東南アジアとの海外コラボレーションなど、演劇の協働力を軸にボーダーレスに活動する。2010年より富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督に公立劇場演劇部門の芸術監督として国内歴代最年少で就任、3期9年間務める。2014年『가모메 칼메기』が韓国の第50回東亜演劇賞演出賞を外国人として初受賞。

四国学院大学、女子美術大学非常勤講師。おもな演出作品に東京デスロック『再生』、KAAT 神奈川芸術劇場+東京デスロック+第12言語演劇スタジオ日韓合作『外地の三人姉妹』、SPAC 静岡県舞台芸術センター『伊豆の踊子』『ガリレオ～ENDLESS TURN～』、精神障害を考える演劇ワークショッププロジェクト『IKIZAMA ミュージックぱーてぃー』『IKIZAMA ミュージックでいなーしょー』など。

リージョナルシアター事業の派遣先 (年度 / 実施団体 / 主会場)

- 2024年度 (公財) 丸亀市福祉事業団 (丸亀市綾歌総合文化会館) 【香川県丸亀市】
- 2023年度 (公財) 京都市音楽芸術文化振興財団 (ロームシアター京都) 【京都府京都市】
- 2022年度 (特非) カルチャーネットワーク (白河文化交流館コミネス) 【福島県白河市】
- 2021年度 大野市 (一) 【福井県大野市】
久留米市 (久留米シティプラザ) 【福岡県久留米市】
- 2019年度 (公財) 松山市文化・スポーツ振興財団 (松山市総合コミュニティセンター) 【愛媛県松山市】
- 2018年度 (公社) 岡山県文化連盟 (岡山県天神山文化プラザ) 【岡山県】
牛久市 (牛久市中央生涯学習センター) 【茨城県牛久市】
- 2017年度 三次市民ホール事業運営委員会 (三次市民ホールきりり) 【広島県三次市】
神奈川県 (神奈川県立青少年センター) 【神奈川県】
- 2016年度 長洲町 (ながす未来館) 【熊本県長洲町】
- 2015年度 (公財) 延岡総合文化センター (延岡総合文化センター) 【宮崎県延岡市】
- 2014年度 (公財) 八王子市学園都市文化ふれあい財団 (八王子市芸術文化会館) 【東京都八王子市】
- 2013年度 (公財) 高知市文化振興事業団 (高知市文化プラザかるぽーと) 【高知県高知市】



田上 豊

劇作家・演出家
田上パル主宰

プロフィール

たのうえ・ゆたか [劇作家・演出家、田上パル主宰]

1983年生まれ熊本県出身。劇作家・演出家。田上パル主宰。専門は現代劇。移りゆく時代の中で揺らぐ人間やその集団を描き出すのを得意とする。劇団外でも、公共劇場プロデュース公演やダンスカンパニーとの合作、国際共同事業など様々な活動を展開。近年は全国各地の小学生から高校生までを対象にした作品創作を精力的に行い、地域性を生かした演出法に定評がある。創作型、体験型、育成講座まで幅広くワークショップも行う。2019年より富士見市民文化会館キラリふじみの芸術監督を1期3年務める。奈良市アートプロジェクト舞台芸術プログラムディレクター。桜美林大学教員。江原河畔劇場芸術監督。

リージョナルシアター事業の派遣先 (年度 / 実施団体 / 主会場)

- 2025年度 鈴鹿アートライフデザイン (鈴鹿市文化会館) 【三重県鈴鹿市】
- 2024年度 (特非) 宇土の文化を考える会 (宇土市民会館) 【熊本県宇土市】
- 2023年度 狛江市 (狛江市西河原公民館) 【東京都狛江市】
- 2022年度 酒田市 (希望ホール (酒田市民会館)) 【山形県酒田市】
- 2021年度 秋田県 (一) 【秋田県】
- 2020年度 いわき市 (いわき芸術文化交流館アリオス) 【福島県いわき市】
- 2019年度 (特非) 能代市芸術文化協会 (能代市文化会館) 【秋田県能代市】
- 2018年度 (特非) 魚沼交流ネットワーク (魚沼市小出郷文化会館) 【新潟県魚沼市】
(特非) 武豊文化創造協会 (武豊町民会館) 【愛知県武豊町】
- 2017年度 (公財) としま未来文化財団 (一) 【東京都豊島区】
袋井市 (袋井市メロープラザ) 【静岡県袋井市】
- 2016年度 川根本町 (川根本町文化会館) 【静岡県川根本町】
- 2015年度 (一財) 長野県文化振興事業団 (長野県伊那文化会館) 【長野県】
静岡市文化振興財団共同事業体 (静岡市民文化会館) 【静岡県静岡市】
- 2014年度 (特非) コミュニティアートセンタープラッツ (豊岡市民プラザ) 【兵庫県豊岡市】



樋口 ミユ

劇作家・演出家

PlantM 主宰

© 伊藤華織

プロフィール

ひぐち・みゆ [劇作家・演出家、PlantM 主宰]

1995年の劇団 Uglyduckling 旗揚げ以降、2011年の解散まで劇団公演 32 作品の戯曲を執筆する。同年、座・高円寺の「劇場創造アカデミー」演出コースに編入し、佐藤信氏に師事。2012年に Plant M を立ち上げ、大阪・東京をはじめ仙台・横浜・豊橋・雲南・沖縄など各地で公演。2011年から2021年の10年間、3月春分の日に関東大震災のチャリティリーディングを行った。1999年『深流波～シンリュウハ～』、2000年『ひとよ一夜に18片』でOMS戯曲賞大賞を2年連続受賞、2012年ラジオドラマ『飛ばせハイウェイ、飛ばせ人生』で放送文化基金賞（ラジオドラマ部門）。2019年よりOMS戯曲賞の最終選考審査員を務める。

リージョナルシアター事業の派遣先（年度 / 実施団体 / 主会場）

2026年度 おおぶ文化交流の杜株式会社（おおぶ文化交流の杜 allobu）【愛知県大府市】

2025年度 釜石まちづくり株式会社（釜石市民ホール）【岩手県釜石市】

2024年度 知多市勤労文化運営共同事業体（知多市勤労文化会館）【愛知県知多市】



福田 修志

劇作家・演出家

F's Company 代表

プロフィール

ふくだ・しゅうじ [劇作家・演出家、F's Company 代表]

1975年長崎市生まれ。劇作家・演出家。長崎大学教育学部卒。1997年にF's Company（フーズ・カンパニー）を旗揚げし、代表と作・演出を務める。心の機微を丁寧に描く作風が特徴で、長崎弁で描かれる作品には独特の温かさが感じられる。劇団外の活動としては、長崎市での市民参加型舞台の経験を活かし、子供から大人までが一緒になって創作を楽しめる空間作りを大切に、地域にある歴史や風習を背景とした作品創作を各地で行っている。また近年では演劇を活用した様々な企画やワークショップを行い、社会の接着剤のような活動も多くなっている。その他、「演劇を長崎の娯楽の一つに」という目標を実現すべく、2018年には長崎市内にアトリエ PentA という小さな劇場を構え、ディレクターとしても活動を続けている。代表作『マチクイの詩』『けしてきえないひ』『ノイジー』。日本劇作家協会九州支部 支部長(2024～)。

リージョナルシアター事業の派遣先 (年度 / 実施団体 / 主会場)

- 2026年度 アクティオ株式会社 (大阪市立芸術創造館) 【大阪府大阪市】
- 2025年度 (公財) 仙台市市民文化事業団 (せんだい演劇工房 10-BOX) 【宮城県仙台市】
- 2024年度 鳥取県 (鳥取県立倉吉未来中心) 【鳥取県】
- 2023年度 (公財) 日立科学文化財団 (多賀市民会館) 【茨城県日立市】
- 2022年度 タクトつるおか共同企業体 (荘銀タクト鶴岡 (鶴岡市文化会館)) 【山形県鶴岡市】
かんないアート&メディアパートナーズ (横浜市市民文化会館 関内ホール) 【神奈川県横浜市】
- 2021年度 大空町教育委員会 (一) 【北海道大空町】
- 2019年度 九重町教育委員会 (九重文化センター) 【大分県九重町】
- 2018年度 (一財) こまき市民文化財団 (小牧市市民会館) 【愛知県小牧市】
(公財) 鈴鹿市文化振興事業団 (鈴鹿市文化会館) 【三重県鈴鹿市】
- 2017年度 (公財) 会津若松文化振興財団 (會津風雅堂) 【福島県会津若松市】
- 2016年度 (公財) 尼崎市総合文化センター (尼崎市総合文化センター・アルカイック) 【兵庫県尼崎市】